

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149905号
(U3149905)

(45) 発行日 平成21年4月16日 (2009. 4. 16)

(24) 登録日 平成21年3月25日 (2009. 3. 25)

(51) Int. Cl.

F 1

A 4 7 C 1/10 (2006. 01)

A 4 7 C 1/10

A 4 7 C 7/38 (2006. 01)

A 4 7 C 7/38

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2009-575 (U2009-575)
(22) 出願日 平成21年2月6日 (2009. 2. 6)(73) 実用新案権者 000108672
タカラベルモント株式会社
大阪府大阪市中央区東心斎橋2丁目1番1号
(72) 考案者 藤本 浩平
大阪府大阪市中央区東心斎橋2丁目1番1号
タカラベルモント株式会社内

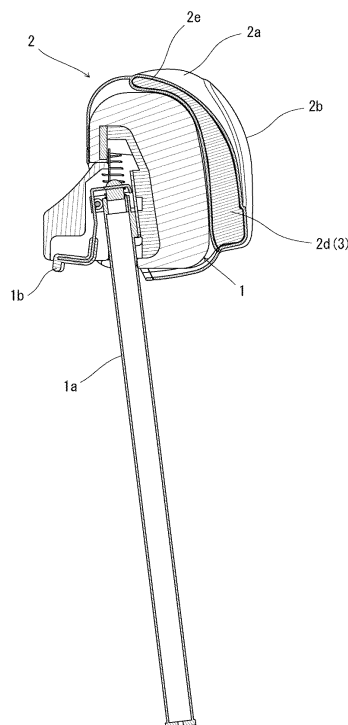
(54) 【考案の名称】 理美容椅子のヘッドレスト用カバー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】様々なヘッドレストに対して装着でき、着座者がヘッドレストに頭部を載置して頭部に負担をかけない、また長時間安楽に頭部を載置できるようなヘッドレストを提供する。

【解決手段】理美容椅子に装着し、かつ背凭れに対して、ヘッドレスト昇降杆 1 a により上下動するヘッドレスト本体 1 に着脱自在に設けるとともに、前面部に凹み部 2 a を設け、かつ凹み部 2 a の周縁部に V 字形状を成す凸部 2 b を設ける。また前記凹み部 2 a および V 字形状を成す凸部 2 b の表装張り部 2 e の内部にジェル 3 を内蔵させて構成する。

【選択図】 図 3



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

理美容椅子に装着され、かつ上下動するヘッドレスト本体に着脱自在に設けられるとともに、前面部に凹み部を設け、かつ前記凹み部の周縁部に V 字形状を成す凸部を設けたことを特徴とする理美容椅子のヘッドレスト用カバー。

【請求項 2】

前記凹み部および V 字形状を成す凸部の表装張り部の内部にジェルを内蔵したことを特徴とする請求項 1 記載の理美容椅子のヘッドレスト用カバー。

【請求項 3】

前記ヘッドレストカバーの装着部にゴム等の弾性体を有することにより、前記ヘッドレストへの装着を容易にしたことを特徴とする請求項 1 記載の理美容椅子のヘッドレスト用カバー。

10

【請求項 4】

前記ヘッドレストカバーの前面下方部および両側部に折返し部を設け、前面下方部および両側部の折返し部をホック等のボタンで留め、ヘッドレスト本体に装着したことを特徴とする請求項 1 記載の理美容椅子のヘッドレスト用カバー。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、理美容院等で使用する理美容椅子のヘッドレストに装着するヘッドレスト用カバーに関する。

20

【背景技術】**【0002】**

従来における理美容椅子のヘッドレストにおいては、例えば、特許文献 1 に開示されている理美容椅子のヘッドレスト装置の開示があるが、従来の理美容椅子に装着され、かつ上下動自在に設けられている内部にウレタンなどの緩衝材を配して、外装をレザーなどの表装張りを施している。

【0003】

これに開示されるヘッドレストは、上下動するヘッドレストの外表面が略水平面を有するヘッドレストであり、該ヘッドレストに着座者の後頭部を直接保持するようにして使用されている。

30

【0004】

但し、前記特許文献 1 に記載される理美容椅子のヘッドレストに、キズが着かないまた汚れなどの防止のために、布地のカバーなどをヘッドレストにカバーを施して使用する場合がある。

【0005】

さらには特許文献 2 では、医療用椅子のヘッドレストが開示されているが、このヘッドレストは着座者が直接後頭部を受けるヘッドレストの前面に凹みが設けられているものがあり、頭部をしっかりとサポートするか、頭部が左右に動かないように固定する目的で使用されている。

40

【先行技術文献】**【特許文献】****【0006】**

【特許文献 1】実開昭 59 - 97650 号公報

【特許文献 2】実開昭 62 - 113545 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0007】**

ところで、特許文献 1 および特許文献 2 にあっては、着座者が椅子のヘッドレストに直接後頭部を載置して使用している場合が多く、また医療用の椅子などの場合は、治療時に

50

頭部を動かさないようにする。

【 0 0 0 8 】

また着座者の頭部のフィット感や安定感を持たすため、ヘッドレスト内面を凹み部として、着座者の頭部をサポートしているが、前記したような理美容椅子などの平面が略水平面になっているヘッドレストなどに使用でき、かつ着座者の頭部を柔らかく、かつ後頭部に負荷のかからないヘッドレスト状態を維持するヘッドレストが望まれていた。

【 0 0 0 9 】

また特許文献 2 の医療用椅子などのヘッドレストでは、直接ヘッドレスト本体の前面部を凹ませた状態のヘッドレストが開示されているが、着座者の後頭部をサポートできるが、安楽な状態を維持できるものではなかった。

10

【 0 0 1 0 】

以上のことから、このような椅子のヘッドレストにおいては、着座者は直接ヘッドレストに頭部を載置しているか、また布地などのカバーを覆ってその上に頭部を載置している場合がほとんどである。

また頭部を安定して保持するために、ヘッドレストの内部に内蔵されるウレタンなどでヘッドレスト自体に凹凸を施して、着座者の頭部を保持している。

【 0 0 1 1 】

このような従来の様々なヘッドレストに対して装着でき、かつすべての着座者に対して安楽に施術を受けられるべく、また着座者がヘッドレストに頭部を載置して頭部に負担をかけない、長時間安楽に頭部を載置できるようなヘッドレストが望まれていた。

20

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 2 】

本考案は前記した目的を達成せんとするもので、請求項 1 の手段は、理美容椅子に装着され、かつ上下動するヘッドレスト本体に着脱自在に設けられるとともに、前面部に凹み部を設け、かつ前記凹み部の周縁部に V 字形状を成す凸部を設けた。

【 0 0 1 3 】

請求項 2 の手段は、前記凹み部および V 字形状を成す凸部の表装張り部の内部にジェルを内蔵した。

【 0 0 1 4 】

請求項 3 の手段は、前記ヘッドレストカバーの外縁部にゴム等の弾性体を有することにより、前記ヘッドレスト本体への装着を容易にした。

30

【 0 0 1 5 】

請求項 4 の手段は、前記ヘッドレストカバーの前面下方部および両側部に折返し部を設け、前面下方部および両側部に折返し部とをホック等のボタンで留め、ヘッドレスト本体に装着した。

【考案の効果】

【 0 0 1 6 】

本考案の理美容椅子のヘッドレスト用カバーは、前面部の中央部に凹み部を設け、かつ前記凹み部の周縁部に V 字形状を成す凸部を設けることにより、着座者の後頭部と首部の境界部分を V 字形状の下端部に保持できるようにしているため、着座者は後頭部を安定した状態でヘッドレスト本体に載置することができ、着座者に対して施術が長時間にわたっても安楽なヘッドレストの状態に施術を受けることができる。

40

【 0 0 1 7 】

またジェルをヘッドレストカバーの前面凹み部および凸部の内部に内蔵することによって、着座者の後頭部の形状の相違に対応できるようにし、さらに安楽な状態で施術を受けることができるものである。

【 0 0 1 8 】

さらには、該ヘッドレスト用カバーの外縁部をゴムなどの弾性体をしているため、該ヘッドレストカバーをヘッドレスト本体に覆うようにして、該ヘッドレストカバーの外縁部 2 c を広げて、ヘッドレスト本体に容易に装着できるようになる。

50

【 0 0 1 9 】

また前面下方側折返し部と両側折返し部に雄または雌のいずれかのホック等のボタンを設けることにより、ヘッドレスト本体に簡易に装着できるようになっている。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 0 】

【 図 1 】ヘッドレストカバーの断面図である。

【 図 2 】ヘッドレストカバーの後方側斜視図である。

【 図 3 】理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の断面図である。

【 図 4 】理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の前方側斜視図である。

【 図 5 】理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の後方側斜視図である。

10

【 図 6 】ヘッドレストカバーをホックで取付けする場合の後方側斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 2 1 】

以下、本考案に係る理美容椅子のヘッドレスト用カバーの実施例を図面とともに説明する。

図 1 はヘッドレストカバーの断面図、図 2 はヘッドレストカバーの後方側斜視図、図 3 は理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の断面図、図 4 は理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の前方側斜視図、図 5 は理美容椅子のヘッドレストに取り付けられた状態の後方側斜視図であり、図 6 はヘッドレストカバーをホックで取付けする場合の後方側斜視図である。

20

【 0 0 2 2 】

本考案の実施例について説明すると、1 は理美容椅子の背凭れに対して上下動するヘッドレスト本体、1 a は理美容椅子の背凭れに対してヘッドレスト本体 1 を上下動させるためのヘッドレスト昇降杆であり、1 b は前記昇降杆 1 a の上下動をロックおよびロック解除するための操作レバーである。

【 0 0 2 3 】

2 はヘッドレスト用カバー、2 a は凹み部、2 b は凸部、2 c はゴムなどの弾性体を有する外縁部、2 d はウレタン、2 e はレザーなどの表装張り部である。

また 2 f は両側折返し部、2 g は前面下方側折返し部、2 h はホック等のボタンであり、いずれかが雄ホックボタンで他方は雌ホックボタンとして構成されている。3 はジェルである。

30

【 0 0 2 4 】

以上の構成から、前記凹み部 2 a と前記凸部 2 b の表装張り部 2 e の内部にはウレタン 2 d が内蔵され、凸部 2 b は内側に凹み部 2 a を有した V 字形状を成しているため、着座者が該ヘッドレスト用カバー 2 に後頭部を載置した場合、着座者の後頭部と首部の境界部分が該凸部 2 b の下端角部に保持されるようになっており、これにより着座者は安定した状態でヘッドレスト本体 1 側に頭部を載置でき、安楽な施術が受けられるようになる。

【 0 0 2 5 】

また前記凹み部 2 a と前記凸部 2 b の表装張り部 2 e の内部にジェル 3 を内蔵することによって、さらに様々な形状を有する着座者の後頭部を十分に保持することができる。

40

【 0 0 2 6 】

次に前記該ヘッドレスト用カバー 2 をヘッドレスト本体 1 に装着する場合、該ヘッドレスト用カバー 2 の外縁部 2 c をゴムなどの弾性体に行っているため、該ヘッドレストカバー 2 を前記ヘッドレスト本体 1 に覆うようにして、該ヘッドレストカバー 2 の外縁部 2 c を広げてヘッドレスト 1 に容易に装着できるようになっている。

【 0 0 2 7 】

さらには、前記ヘッドレストカバー 2 の前面下方側折返し部 2 g および両側折返し部 2 f を設けているため、前面下方側折返し部 2 g と両側折返し部 2 f それぞれに設けられる雄または雌のいずれかのホック等のボタン 2 h により、前面下方側折返し部 2 g と両側折返し部 2 f とを留めることによって、ヘッドレスト本体 1 に容易に装着できるようにして

50

いる。

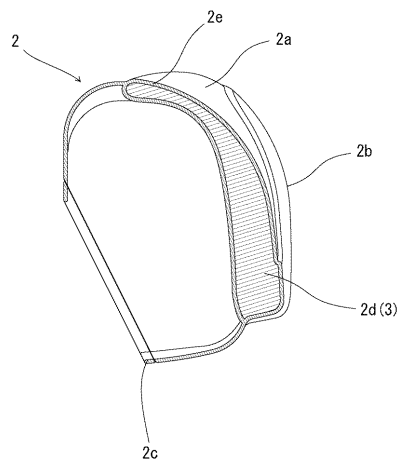
【符号の説明】

【0028】

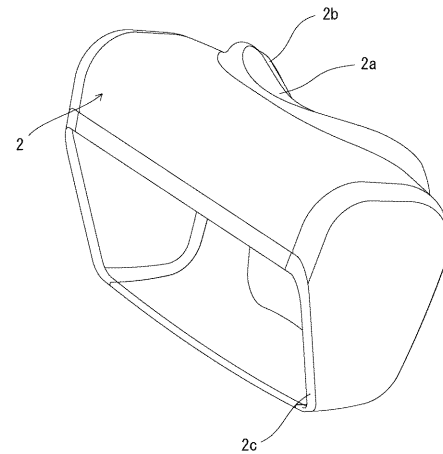
- 1 ヘッドレスト本体
- 1 a ヘッドレスト昇降杆
- 1 b 操作レバー
- 2 ヘッドレスト用カバー
- 2 a 凹み部
- 2 b 凸部
- 2 c 外縁部
- 2 d ウレタン
- 2 e 表装張り部
- 2 f 両側折返し部
- 2 g 前面下方側折返し部
- 2 h ボタン
- 3 ジェル

10

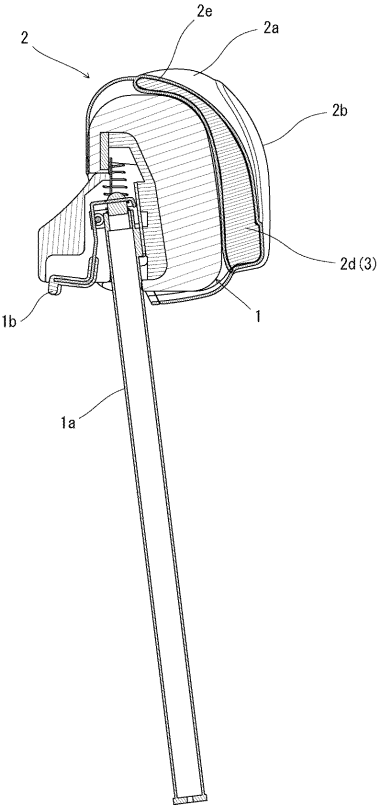
【図1】



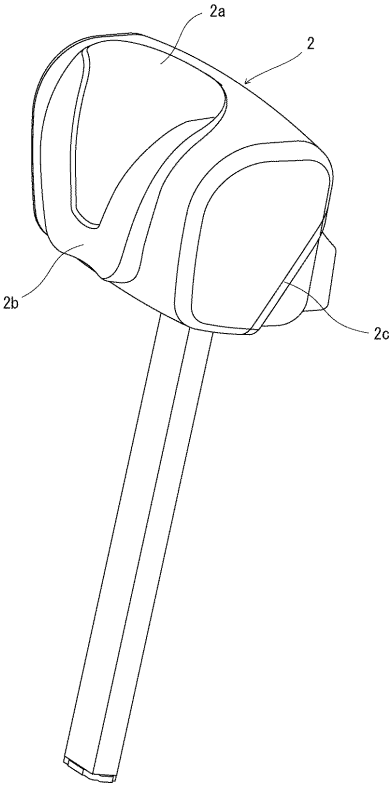
【図2】



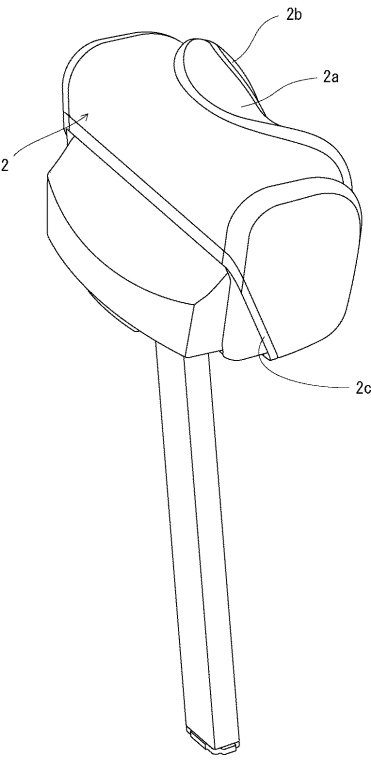
【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】

